

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 佐那河内村立佐那河内小学校
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫）
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒771-4101
徳島県名東郡佐那河内村下字中川原30

E-mail sasyou@tgn.tcn.ne.jp

Website <http://e-school.e-tokushima.or.jp/sanagochi/html/htdocs>

幼児児童生徒数 男子 50名 女子 33名 合計 83名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

3. 活動内容

(1) 活動の概要

本校は、「郷土佐那河内に誇りをもち、自ら考え、表現し、心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成」を学校教育目標としている。児童は、一体型の校舎で学ぶ中学生や隣接する保育所の園児とともに、豊かな自然環境の中でのびのびと学習に取り組んでいる。地域を知り、地域から学び、行動する力を育てていくことをねらいとして、ボランティアに係わる活動、ふるさと体験に係わる活動、国際理解に係わる活動、防災に係わる活動を行った。

① ボランティアに係わる活動

(1) 朝の清掃活動

毎朝、5・6年生の児童が、ボランティアで学校の玄関や下駄箱を掃除している。

(2) 書き損じハガキ、キャップ・プルタブ集め

リサイクル活動の一環として、書き損じハガキ、キャップ・プルタブを回収している。

(3) 児童会あいさつ運動

毎週水曜日の朝に、児童会が生徒会とともに、学校の玄関であいさつ運動を行っている。

②ふるさと体験に係わる活動

(1)オリエンテーリング

11月に、全校児童を縦割りで12個の班に分け、班ごとに学校周辺の自然あふれるコースを歩いた。

(2)稲刈り体験

9月下旬に、5年生の児童が地域の方々に協力してもらいながら、稲刈りをした。

(3)川遊び

夏休みに、5・6年生の児童が学校近くの川で川遊びをし、佐那河内の自然を満喫した。

③国際理解に係わる活動

●国際交流集会

9月下旬に、国際交流集会と称して、外国出身の講師を3人お招きし、各国の言葉や文化に触れた。

④防災に係わる活動

●避難訓練

各学期に1回、保小中合同で避難訓練を行っている。今年度は、5月、9月、1月に実施した。



① (1) 朝の清掃活動の写真



② (2) 稲刈り体験の写真



③ 国際交流集会の写真



④ 避難訓練の写真

(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

--

② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

<p>本校は、キャリア教育で目指す児童像を、「様々な人々とコミュニケーションを図り学び合う中で、夢や希望を持ち、意欲をもって努力し続ける児童の育成」と定めている。そして、キャリア教育で育成すべき能力・態度として、かかわる力（人間関係・社会形成能力）、みつめる力（自己理解・自己管理能力）、すすむ力（課題対応能力）、えがく力（キャリアプランニング能力）を挙げている。その中で、かかわる力（人間関係・社会形成能力）とえがく力（キャリアプランニング能力）を育むための活動として、ユネスコスクールとしての活動を位置づけている。</p>

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、ふるさと体験に係わる活動や国際理解に係わる活動、防災に係わる活動は毎年実施することとしている。また、年間を通して行っているボランティア活動については、定期的に教員が活動を促すこともあるが、児童が自発的に活動に取り組んでいる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

5・6年生の児童には、ユネスコ協会ESDパスポートを4月に配布し、2月に回収した。回収したパスポートの活動の記録を見ると、ボランティア活動において、児童によって活動の時間や回数にばらつきがあることがわかった。より多くの児童が積極的にボランティア活動に取り組めるように、ボランティア活動の内容や活動時間の見直しを図りたい。

- ⑤ ESDの推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項2-2に対応

学校のホームページにおいて、日々の活動を報告している。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)(200字程度)

※チェック事項2-3に対応

5年生の田植え・稲刈り、1年生のいも植え・いも掘りは、地域の方々の土地で体験をさせてもらっている。また、5・6年生の川遊びや、全校児童のオリエンテーリングにおいても、地域の方々の協力を得て行っている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）
※チェック事項 2-4 に対応

現時点で、他のユネスコスクールとの交流はない。また、今年度は、将来的な交流のためのネットワーク構築に向けた取り組みはしていない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

毎週水曜日の朝、6年生の児童会が中学校の生徒会とともに、学校の玄関であいさつ運動を行っている。以前は、あいさつの声が小さい児童や、相手の顔を見ずにあいさつする児童がいたが、児童会と生徒会の継続的なあいさつ運動により、ほとんどの児童が相手の目を見て大きな声であいさつすることができるようになった。ただし、長期休暇の直後には、再びあいさつの声が小さくなる児童が見られたため、今後もあいさつ運動を継続し、定着を図りたい。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

平成30年度も、「様々な人々とコミュニケーションを図り学び合う中で、夢や希望を持ち、意欲をもって努力し続ける児童の育成」を目指し、かかわる力（人間関係・社会形成能力）とえがく力（キャリアプランニング能力）を育むために、ボランティアに係わる活動、ふるさと体験に係わる活動を軸とした活動計画を進めている。